

学校課題（○課題 →要因）

○学び合い、自由進度学習はスタートできたが、取組に偏りがあり、自律と共生が十分に育つまで至っていない。
 → 一人ひとりの単元計画表や環境設定・支援の在り方
 ○異年齢学級の学びで、学びの過程に働く非認知能力を育む認識が不十分である。
 → 探究的な学びの構造理解が不十分
 ○自治活動や教育DX等で、子供に任せる範囲と教師の環境設定・支援が不明確。
 → 失敗から修正する学校文化が確立されていない。
 ○個別最適な学びに対する評価になっていない。
 → 絶対評価と個人内評価を大事にする教育活動と評価の在り方

市の方針と重点

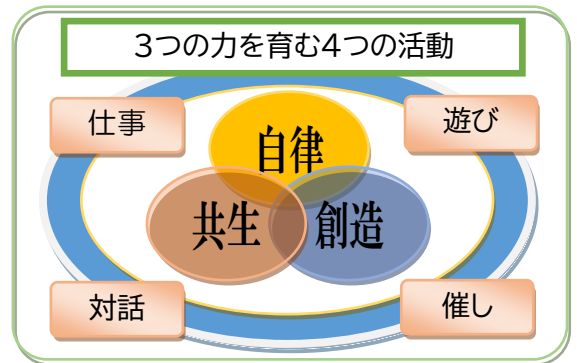
<基本方針>
 家庭・地域との協働を基盤に『共に支え合い、個のよさや可能性を広げる教育』をめざして
 <願う子どもの姿>
 自分や仲間の個性や能力を理解し、共に高め合い、自らの可能性を広げる児童生徒
 <目標>
 ・校長のリーダーシップのもと、教職員や家庭・地域コミュニティとの協働による積極的な攻めの学校経営
 ・児童生徒の個性や能力の理解を組織的にに行い、一人ひとりの将来に生きる力を育てる指導
 ・教師としての資質能力を高めるために学び続け、高い専門性と指導力、感受性を身に付ける研修

〔学校の教育目標〕 自ら学び、心豊かでたくましい方県の子

◆学校教育目標を具現する3つの力と4つの活動

3つの力	めざす子ども・職員の姿
自律	<ul style="list-style-type: none"> 自分で思考・判断し、行動できる。 自分で計画を立て、行動できる。
共生	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認め尊重し、誰一人取り残さないよう他者と共によりよく生きる。
創造	<ul style="list-style-type: none"> 常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。(Critical Thinking)

<子ども>
 教わり上手から学び上手へ
 <職員>
 教え上手から学ばせ上手へ



◆自律・共生・創造を育む6つの重点（仕事・催し・遊び・対話のバランスよい活動の展開）

教育活動の重点		教育環境の重点	
<p>仕事</p> <p>対話</p> <p>①個別最適な学び ~学び合い・自由進度学習~</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・ICT等の教材を活用して自分で学ぶ。 わからないところは、仲間に聞く。 聞かれたら、誰一人取り残さないよう一緒に考える。 学び方や教材等を選択・判断し学びを進める。 	<p>学びの当事者を育む</p>	<p>④教育DXの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別最適化の学びでのICT活用（ロイノート、スタサブの有効活用） 校内外オンライン学習の実践 ICT機器を文具として活用 	デジタル化で生活を好転
<p>催し</p> <p>対話</p> <p>②異年齢の学び~方県なかよしスクール+教科~</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの違いを認め、誰一人取り残さない学びや遊びを創造する。 ①異年齢遊び ②サークル対話 ③教科学習（算数・体育等） ④フリースタイルプロジェクト等 	<p>違いを認め幸せを創造</p>	<p>⑤教育評価・教育相談・いじめ対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供の成長に大きな可能性を感じる評価 学習者・保護者の心のケア いじめが起りにくい学校の仕組み作り 	安心・安全を確保
<p>遊び</p> <p>対話</p> <p>③学校社会を創る自治活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究的な自治活動の充実 好奇心のない伝統的活動からの脱却 課題発見・情報収集・整理分析・まとめ表現の強化 失敗から発見し修正して歩み続ける。(探究する力) 	<p>社会を創る</p>	<p>⑥未来学校プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 3校合同学園構想 オンデマンドで課題解決できる職員・児童の能力育成と環境設定 チーム担任制（学年担任制+教科担任制） 	全職員で育てる

◆地域全体で子どもを育てるために

学校を含む地域全体で子どもたちを育てるコミュニティ・スクールの充実
 <令和6年度の挑戦！>

- 学校運営協議会
 - 地域ぐるみで教育を推進する仕組みづくり
- 地域との連携
 - 方県地区の人から学ぶキャリア教育の立ち上げ
 - 方県地域による学習支援（土曜寺子屋）・特別支援サポーターの充実
 - 学校給食に方県地区の食材を導入（ふるさと教育推進）

学校運営協議会
 ~学校評価の活用~

- 第1回 学校経営の全体構想を検討
- 第2回 中間報告会を開催し、達成度と今後の方向を議論する。
- 第3回 学校評価の結果をもとに、学校経営について見直し、来年度の方向を検討。